

関連項目：教育活動プラン①、③

自尊感情を高めるための学校行事の充実

目的

丸亀市楽しい学校・学級づくりアンケート結果から、本校の児童には、「自尊感情」や「感謝された経験」に課題がみられた。そこで、本年度は児童が魅力を感じる学校行事をより充実させ、その中で多くの友達と関わらせることで、感謝される経験ができたり、自尊感情を高めたりできるようにしたいと考えた。

内容

● 活躍できる・・・友達のよさを認め合う学校行事

本校の自慢は、何と言っても840名を超える児童数の多さである。たくさんの友達をつくり、お互いのよさを見つけ、認め合うことが可能である。運動会、クラスマッチ（水泳・なわとび・マラソン）、歌声広場（合唱）、郡小まつり（4年生以上の各学級が、射的やボーリング、クイズなどお祭りの屋台のように、出し物を行い、低学年の児童を招待する。）さんぐんの集い（学習発表会）を通して、友達のよさを見つけ、学級内で紹介する機会を設けている。「認め合いコーナー」として、各教室の背面に友達のよさ見つけカードを掲示し、1年間の積み重ねができるようにしている。



● かかわり方を身に付ける・・・相手意識を育てるペア活動

ペア学年での活動（1・6年、2・4年、3・5年）を積極的に取り入れ、異学年の児童が交流することで、相手の気持ちを考えた行動・言動がとれるようにしている。本の読み聞かせ（年3回）、プール開き、身体測定、新体力テスト、郡小まつりでペア活動を実施した。これらの活動は、高学年の児童が感謝される機会になっており、充実感や満足感が得られているようである。また、本年度は、来年度より本格使用が開始される新運動場の芝生の植え付けもペア学年で行った。自分たちの手で、自分たちの運動場を整備することにより、地域や大人の役に立ったという意識だけでなく、いつまでも大切に使い続けようとする態度も育てられたはずである。



成果

12月に実施した楽しい学校・学級づくりアンケートを見ると、学校がとても楽しい（59.8%）、楽しい（35.2%）と答えた児童の割合は、95.0%であり、高い水準を保つことができている。また、学校が楽しい理由をたずねると、「好きな行事があるから」と答えた児童の割合が48.9%（前年度46.8%）、感謝された経験が「よくある」と答えた児童の割合が、29.0%（前年度26.6%）と若干ではあるが増加していることも分かる。少しずつではあるが、ねらいが達成されつつあると感じている。来年度も継続して取組を続け、さらに児童の自尊感情を高められるようにしたい。